

流域のたからもの～緑地の保全について考えてみよう！

更新:2006年12月19日

ウォーキング

フォーラム開催地である清瀬市では様々な手法によって保全されている緑地があり、ウォーキングではその現状を観察しました。

またコース内において、川づくり・清瀬の会の方々に緑地保全や清瀬市の緑地に関する説明をしていただきました。

日時 : 10/14(土)12:45~15:15
天候 : 晴れ
参加者数 : Aコース 20名 Bコース 22名

＜ウォーキングの様子＞

①柳瀬川・金山調節池



日頃の管理により守られています。

②金山緑地公園



多くの人々が利用する公園で、武蔵野にある在来の樹木が植えられています。

③柳瀬川沿いの河畔林



柳瀬川流域ネットワークの活動により残されたエノキがありました。

④所沢側の崖線



斜面の茶褐色の土が露出し、アカバツケといわれていました。

⑤柳瀬川のワンド



今後整備されるワンドです。

⑥空掘川、平地林



手入れも良く、良好な形で残されている平地林です

⑦林からの湧水



清瀬せせらぎ公園の流水は地下水を利用循環させています。

⑧林再生



清瀬中里緑地保全地域では、市民活動で萌芽更新を実施し、植生調査などをしながら経過を見守っています。

⑨薬師寺



古い言い伝えのあるお寺です。

⑩中里一丁目緑地保全地区



市民団体の熱心な募金活動等によって集められた清瀬緑地保全基金が使われ、守られた平地林です。